

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年2月27日～3月3日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
2月27日	2号機構台設置作業の進捗確認他	地下水バイパス揚水井H周辺 サブドレンー時貯水タンク周辺	○構内で行われている工事の進捗状況を確認した。2号機原子炉建屋の西側に構台が設置されていた。また、サブドレンー時貯水タンクの堰外に溶接タンクが一基増設されていた。	13時10分現在
2月28日	メガフロート点検状況の確認	専用港物揚場	○メガフロートの状況を確認した。現場では作業員が数名作業を行っていた。メガフロート甲板に穴を開け、カメラを入れて内部を撮影する準備をしているとのことだった。	13時05分現在
	Bタンクエリアの状況確認	Bタンクエリア	○Bエリアのフランジ型タンク解体作業の状況を確認した。エリアに併設されていた雨水ピットやタンク堰のカバーが撤去されていた。雨水ピットの箇所は鉄板を敷き、重機が入れるように整備されていた。	
3月1日	海側遮水壁の状況の確認	海側遮水壁周辺	○前日、双葉町で震度5弱の地震があったことから、海側遮水壁の状況を確認した。鋼管矢板に目立った亀裂は確認できなかった。一部に傾斜計が設置されていた。	13時05分現在
3月2日	3号機燃料取り出し用カバーFHMガーダ設置作業の確認	3号機原子炉建屋周辺 専用港物揚場	○3号機燃料取り扱い設備(FHM)のガーダーの部材を吊り上げる工事の状況を確認した。特に問題なく、吊り上げ作業が完了した。物揚場でガーダーの部材を確認した。	12時45分現在
	地下貯水槽No.2の状況確認	地下貯水槽No.2	○地下貯水槽No. 2の観測孔の分析値が上昇したことから現場を確認した。特に周辺で工事等は行われておらず、異常も見当たらなかった。	
	高温焼却炉建屋床面の水溜まりの状況の確認	高温焼却炉建屋	○当日、高温焼却炉建屋で発見された水たまりについて現場確認した。確認時、水の拭き取り作業が行われていた。水たまりのあった箇所は堰の内側であった。漏えいと思われる配管にはビニールで養生されていた。	
3月3日	炉注水等に対する機動的対応に係る設備の確認	J7タンクエリア周辺	○地震等で原子炉注水が停止した場合に備える機動的対応設備を確認した。J7タンクエリア周辺の堰外に、ALPS処理水を消防車で原子炉に注水できるように送水口が設けられていた。前回説明を受けた際には、消防車でALPS処理水を送水することには課題があるため、手順書等は整備していないとのことだった。	13時08分現在
	J5タンクエリアの状況の確認	J5タンクエリア	○J5タンクエリアの状況を確認した。J5タンクエリアは堰をJ3～J7エリアと共有していた。J6エリア、J7エリアとの境界の部分を確認し、高さ1m程の堰の塗装まで完了していることを確認した。	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。